

# 京都市立錦林小学校

## 校歌

鈴鹿 野風呂 作詞  
福本 正 作曲

一 東山 はずむ朝日は けがれなく  
ふくらすすめが うれしそう

ああ錦林に  
ともに楽しく 学び

よしま

二 平安宮の そよかぜ 清く 森の鳩

すくすく伸びて 楽しそう

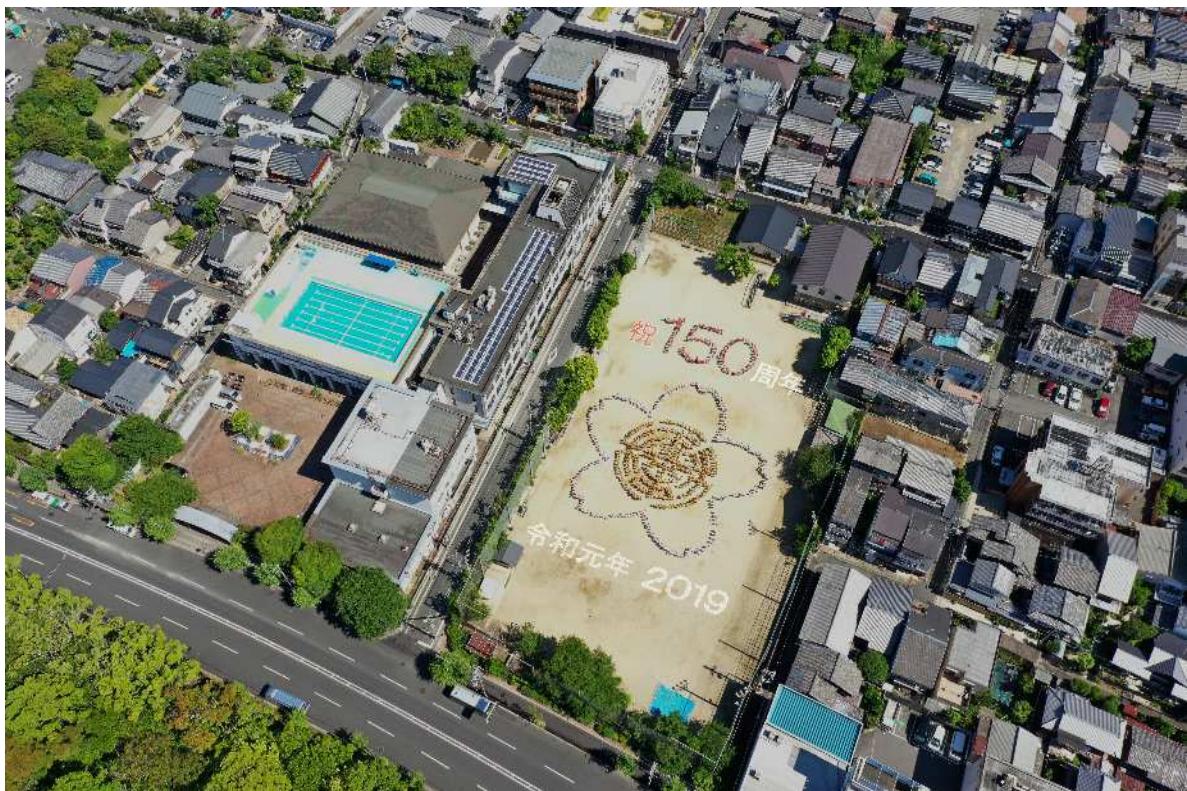
ああ錦林に  
いぶきも強く 鍛え

よしま

三 光ある 命のふるぎと ともにさち  
しあわせもとめて むつみあい

ああ錦林に  
直ぐ明るく 育ち

よしま



全校児童 533名 (令和6年4月1日現在)

# 学校教育目標

## 校訓：実行力

「人との関わり・つながりの中で自分を高める 実行力の育成」

～「なりたい自分」に向かって 考える・決める・実行する 強さを育てる～

### 目指す子ども像

- 「なりたい自分」を目指してがんばる子
- 考える・決める・実行する子
- 自分・友達・集団を大切にする子

### 【学校の概要】

本校は、明治2年、上京第32番組小学校として開校され、その後、明治8年上京第32区錦織小学校と改称し、秋篠町に移転されました。また、明治26年、錦林尋常高等小学校と改称され、明治33年新校舎が完成されるとともに現在地に移転されました。

昭和22年には京都市立錦林小学校と改称されました。一時期（昭和30年代）は児童3000人65学級（教職員85名）という大規模校でした。昭和40年には卒業生の朝永振一郎博士がノーベル物理学賞を受賞され、まさに現在まで地域の方々の誇りとなっています。

本校の研究は、昭和63年度には、京都市教育委員会より国際理解教育研究指定を受け国際理解教育、平成2年度～8年度には、全国国語教育研究大会会場校として主に国語教育に力を注ぎました。平成7年度には京都市教育委員会より国語教育充実に対し表彰を受けました。その研究領域は国語教育にとどまらず平成11年度～13年度には「総合的な学習の時間」調査研究校指定を受け、新たな授業作りの先進校としての役割を担いました。平成13年度には「21世紀の学校づくり」推進事業、平成16～18年度にはみやこ学校創生事業「みやこパイロットスクール」、平成17～18年度には文部科学省「国語力向上モデル事業」、平成19～20年度には文部科学省「コミュニティ・スクール推進事業」、平成22年度には「教科別集中実践事業」（国語科）、平成23年度には「豊かな学びリーディングスクール」（国語科）推進事業実施校、平成24年度には「教育課程研究指定校」（国立教育政策研究所指定事業）など様々な指定を受け、研究を進めてまいりました。平成24年度には全国小学校国語教育研究

大会を本校で行い、全国からも多数の参会者を迎えるました。そして平成25年4月錦林小学校と同じく番組小学校としての歴史を刻んできた新洞小学校（33番組小学校）と統合し、新たな錦林小学校の歴史がスタートしました。そして新たな一歩として平成25年・26年度と「豊かな学びリーディングスクール」（学校図書館・情報）推進事業実施校「21世紀型ICT教育の創造モデル事業」の指定を受け、21世紀を担う子ども達の育成に力を注ぎました。平成26年度にはこれまでの諸先輩方から受け継いできた本校の研究成果に対して博報賞を受賞いたしました。そして平成27年度は、今まで本校が研究を通して培った力が子どもたちの確かな生きる力となるようにキャリア教育を研究し、平成28年・29年と文部科学省から伝統文化教育の教育課程の研究の指定を受け、研究を深めていくとともに全国大会に参画させていただきました。また、文部科学省から「読書活動実践校」として表彰され、学校と地域とがひとつになり子どもの育成のために力を注いできたことが評価されました。昨年度は、文部科学省から「道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業」の研究指定を受け、道徳科の授業研究を軸とし、生活科・総合的な学習の時間・特別活動等と連携させた教科横断的な取組（カリキュラムデザイン）についての研究を進めてきました。

令和3年度から、児童の自己肯定感を育む取組を重点的に行い、「令和4年度京都市教育委員会 教育実践功績表彰」にて、本校の「自己肯定感向上プロジェクトチーム」がチーム部門で表彰を受けました。

これまでの多くの研究や取組が、学校教育の柱として、錦林小学校の教育を支えています。伝統ある錦林小学校は、これからも新たな挑戦を続けていきます。

### 【校下の特色】

校区は中心に丸太町通り、北は近衛通り、南は三条通りまで、東は白川通りから西は鴨川にまで及んでいます。岡崎、川東、聖護院、新洞、吉田の五地域を包含し、京都市の文化圏として多くの施設が集まっています。さらに、多くの社寺仏閣があり、昔ながらの街並みが今も残っています。また、校区の東西を琵琶湖疏水が流れ、憩いの場として、四季折々、観光客などにぎわっています。

## 【学校沿革】

	錦林小学校	新洞小学校
開校年月日	明治2年8月21日	明治2年7月11日
開校時の学校名	上京第32番組小学校	上京第33番組小学校
学校名の変化	上京第32区小学校(M5) 上京第32区錦織小学校(M8) 浄土寺分校・鹿ヶ谷分校創立(M14) 錦織尋常小学校(M20) 錦林尋常小学校(M26) 〈錦織、吉田、浄土寺、鹿ヶ谷が合併〉 第二錦林小学校開設 〈女子部〉(M35) 錦林尋常高等小学校(M36) 第三錦林尋常小学校分立(T13) 第四錦林尋常小学校分立(S6) 錦林国民学校(S16) 京都市立錦林小学校と改称(S22) 福ノ川分校開設(S29) 福ノ川分校閉鎖 〈白河養護学校に移管〉(S51)	上京第33小学校(M2) 上京第33区新東小学校(M9) 上京新洞小学校(M15)  京都市新洞尋常小学校(M25)  新洞国民学校(S16) 京都市立新洞小学校と改称(22)  ※明治元年中年寄竹鼻仙右衛門氏が有志と新東洞院町で開校

平成25年4月 京都市立錦林小学校と京都市立新洞小学校が統合され、現在の京都市立錦林小学校に。



写真：錦林校百年史より抜粋